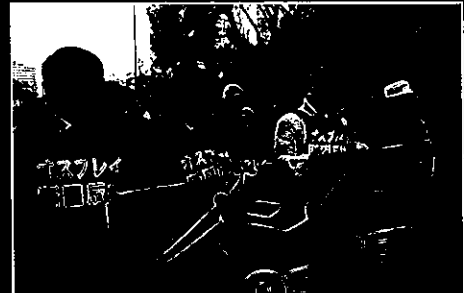


辺野古新基地NO!!

11・16投票 県知事選挙勝利へ



昨年1月、「オール沖縄」の代表が基地の県内移設反対などの「建白書」に署名し安倍首相に直訴

10.4 安倍政権の暴走ストップ!

沖縄連帯交流集会

とき：10月4日(土) 午後2時～4時15分

会場：あいおいニッセイ同和損保新宿ビル地下ホール

沖縄県民は、昨年1月、米軍輸送機オスプレイ撤去、普天間基地の撤去、県内移設反対の県民の願いを込めた「建白書」を安倍首相に提出しました。しかし、安倍政権はこれを無視し、仲井真県知事も県民を裏切って、名護市辺野古への新米軍基地建設ごり押しの動きが強まっています。

これに対し沖縄県民は、10月30日告示、11月16日投票の県知事選挙で、「建白書」の願いを実現する知事の誕生をと、保守・革新の立場を超えた「オール沖縄」の共同を広げています。この沖縄県知事選挙の勝利は、新基地建設をくい止め、「基地のない沖縄」への展望を開きます。また、「戦争する国づくり」に暴走する安倍政権にNO!の審判の声を示すものです。この沖縄のたたかいへの連帯を広げる集いに、ぜひご参加ください。

沖縄からの訴え「建白書」実現めざす県議会野党の思い



沖縄県議会議員 (日本共産党議員団幹事長)
渡久地修さん

県議会で仲井真知事と激しく論戦。野党4党1会派で翁長那覇市長に知事選出馬要請。

●沖縄からのビデオメッセージも

連帯のスピーチ



沖縄出身の戦場カメラマン
石川文洋さん

沖縄出身。戦場からベトナム戦争を世界に伝え、戦争の拠点とされる沖縄を撮り続ける。



沖縄リーフチェック研究会
安部真理子さん

環境保護運動家。「北限のジュゴン調査チーム・ザン」と共同で辺野古のジュゴンの食み跡を多数発見。

- 沖縄の文化行事も
- 米軍基地NO! 首都圏の住民の訴えも
- 集会終了後、新宿パレード!



新宿駅南口(甲州街道口)より
初台方面に徒歩10分、左側です。

主催 / 2014年日本平和大会実行委員会

〒104-0015 東京都港区1-4-9 平和会館4階 日本平和委員会気付
電話 03-3451-6377 FAX03-3451-6277 <http://www.heiwataikai.info>

辺野古強行を止めさせよう—沖縄の心をひとつに—

沖縄「建白書」を実現し未来を拓く島ぐるみ会議 結成アピール

2013年1月28日、沖縄は極めて重要な歴史的意義をもつ「建白書」を日本政府に提出しました。オスプレイ配備撤回と米軍普天間基地の閉鎖及び県内移設断念を求めて沖縄の41市町村すべての首長、議会議長、県議会議長らが署名し、沖縄の総意として、安倍晋三内閣総理大臣に直接要請するという歴史的行動を興しました。

そして去る1月19日、米軍普天間基地の辺野古移設の可否を最大の争点とした名護市長選挙において、「移設ノー」を、名護市民は明確に示しました。にもかかわらず、日本政府は辺野古への建設を強行しようとしています。このことは名護市民と沖縄県民の民意と尊厳を踏みにじり、社会正義と民主主義の基本をも否定するものです。

沖縄の米軍基地は、米軍政下において沖縄の人々の人権を侵害し人道的な配慮を無視して建設されたものです。私たちは1950年代、基本的権利を守るため島ぐるみで米軍支配に対して闘いを始めました。今なお国土面積の0.6%の沖縄に、米軍専用施設の74%が集中する実態は、社会的正義にもとる軍事植民地状態の継続です。沖縄の人々が、人として生きることすら拒まれる基本的権利の侵害であり、経済的、社会的及び文化的発展の自由を否定する構造的差別です。

私たちには、私たちの土地、海、空を守り活かす権利があります。このような権利は、地球上のすべての人々が共有するものであり、人類が長年の努力から勝ち得てきた普遍的な権利です。国連の委員会では、沖縄のことについて沖縄の人々が決める権利があるとし、日本政府に対して、基地を集中させる沖縄への差別と権利侵害を解消していくよう求めています。

沖縄経済と米軍基地の関係について、県民総所得約4兆円のうち、米軍基地関連収入は約5%に過ぎず、基地の返還跡地は、沖縄経済全体を牽引する発展の拠点となっています。たとえば、那覇新都心地区では、雇傭者数が103倍、雇用者所得は69倍と、返還後は著しく増加しています。小禄金城地区や北谷町西海岸地区においても同様に発展しています。米軍基地の返還が、経済発展の自由と自立と平和につながることを、沖縄の人々は気づいています。

基地に支配され続ける沖縄の未来を、私たちは拒絶します。そのような未来を子どもたちに残してはなりません。私たちには、子どもたちに希望のある沖縄の未来を引き継いでいく責務があり、沖縄らしい優しい社会を自らの手で自由につくっていく権利があります。2013年沖縄『建白書』の実現を求め、辺野古強行を止めさせ、未来を私たちのものとするために、沖縄の心をひとつにし、島ぐるみの再結集を、全沖縄県民に呼びかけます。

2014年7月27日

沖縄「建白書」を実現し未来を拓く島ぐるみ会議 結成大会

「沖縄と連帯するタベ」 行動提起

沖縄全41市町村長・議長らが署名した「建白書」が掲げる、辺野古新基地建設反対・普天間基地の閉鎖・撤去、オスプレイ配備撤回はオール沖縄の思いであり意志です。

しかし、安倍政権は、沖縄県民の思いを蹂躪し、官邸主導で権力を振りかざし、海上保安庁、警察を総動員し暴力的に新基地建設を進めています。

戦後、米軍基地に苦しめられてきた沖縄に、世界有数の自然が豊かに残されている大浦湾に、新たな巨大米軍基地の建設は絶対に許されません。

新基地建設を「中止すべきだ」の沖縄の世論は80.7%に達し、安倍政権を「支持しない」は81.7%に達しています。

翁長雄志（おながたけし）那覇市長は、「建白書」実現の立場で、9月13日に沖縄県知事選挙への立候補を表明する予定です。

翁長さんの勝利で新基地建設を阻止しましょう。

翁長さんの勝利は、集团的自衛権行使容認の解釈改憲・立法改憲をねらう安倍政権への極めて重大な打撃となり、政治の流れを変えるものともなります。

集团的自衛権行使容認と新基地建設を阻止するたたかいは、「戦争する国づくり」に反対するあい呼応するたたかいともなっています。

沖縄県知事選挙は、平和を愛する沖縄県民と日本国民の共通のたたかいであり、沖縄と連帯し、本土の支援を全力で強め、必ず勝利しなければなりません。

そのために、以下の取り組みを進めましょう。

- 1、沖縄県知事選挙の勝利のために、各団体、個人は沖縄統一連と連携し、それぞれの条件を生かして沖縄へ支援に行きましょう。
- 2、地域・職場で沖縄支援を広げ、勝利の思いをカンパに託し送りましょう。
カンパ送付先 沖縄革新懇 郵便振替口座01710-9-127910
(送料自己負担の青い振込用紙をお使いください。9月16日以降開設。
沖縄革新懇 TEL098-855-7435)
- 3、沖縄の友人・知人に翁長雄志さんの支持を訴えましょう。

2014年9月8日

全国革新懇・東京革新懇共催「沖縄と連帯するタベ」